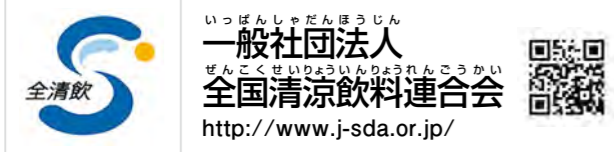


# ペットボトルはどんなものに生まれ変わるの？

飲み物の仕事

リサイクルの仕事

環境にやさしい仕事



清涼飲料水の主要な容器であるペットボトルは、資源として再利用されています。どんなものに生まれ変わるのか、全国清涼飲料連合会に教えてもらいました。

**A** 新しいペットボトルに生まれ変わったり  
いろんな製品に再生されるよ！

軽くて丈夫、  
衛生的で便利なペットボトルは  
未来に役立つ貴重な資源。  
ポイ捨てしちゃ  
ダメダメ！

## ペットボトルの再利用品が増えています



▲ペットボトルはペットボトルへ。ボトルには再生資源として利用されるための識別マークがついています。数字の「1」はポリエチレンテレフタレートの印。

ペットボトルはポリエチレンテレフタレートという単一の素材からできています。きれいにしてフレークやペレットなどの再生原料に戻せば、同じペットボトルに生まれ変わることができるエコな容器です。  
回収されたペットボトルは処理工場できれいに洗浄された後、細かく砕かれ、熱で溶かしたりして新しい製品に生まれ変わります。ペットボトルが新しいペットボトルに再生する水平リサイクル（「ボトル to ボトル」）のペット樹脂利用量は2019年度に7万4200tと、10年前に比べて3倍以上も伸びています。このほか、食品トレーや衣類、バッグなど、さまざまな製品に生まれ変わっています。



◀ペットボトルリサイクル推奨マーク。使用済みのペットボトルが25%以上使用されている製品に付けられます。このマークが付いた登録商品数は2019年度に459品と、前年より115品増えました。



## ペットボトルは資源循環する「未来の資源」です

答えてくれた人 一般社団法人 全国清涼飲料連合会  
広報部兼自販機部 白石和弘さん(左) 甲斐喜代美さん(右)

2019年度の日本のペットボトル回収率は93%でした。リサイクル率も85.8%でした。米国のリサイクル率が約20%、欧州の約40%と比較しても、世界トップレベルのきわめて高い水準といえます。これは、家庭ごみを市町村が集め、事業者が責任をもってリサイクルする資源循環システムが整っているからです。

世界的にも海洋プラスチック問題に注目が集まるなか、さらに正しい循環が進むように私たちはさまざまな取り組みを進めています。環境省の協力を得て、おしごととはくづかんと一緒に新しい啓発動画「不滅のペットボトル」を作りました。こちらぜひご覧くださいね！

ペットボトルに蘇る！  
「不滅のペットボトル」の  
活躍はこちらで！



## きちんと分けると、リサイクルの品質が高まります

皆さんは飲み終わったペットボトルをどんなふうにしていますか？ 正しいルールは、①キャップとラベルを外す ②中身をすすぎ、横方向につぶす ③リサイクルボックスや地域の資源回収所に出す この三つです。

リサイクルボックスに決められたもの以外のものが混じっていると、再生産される資源の品質が悪くなってしまいます。これは、鉄でできたスチール缶や、アルミニウムでできたアルミ缶も同じこと。自動販売機のそばに設置されているリサイクルボックスは、ごみ箱ではありません。飲み終えた容器は正しく分別することで、貴重な資源にすることができるのです。

## 入れるのは未来の資源



外でおいしい！

家でもゴクゴク！



飲み終わったペットボトルはリサイクルボックスに入れてね。



こうして、資源のリサイクルが循環していきます。



リサイクルに出す前に、ペットボトルはキャップとラベルを外してね。



回収されたペットボトルは処理工場で選り分けられます。ルール違反のゴミが混じっていると分別が大変です！



ペットボトルは再び新しいペットボトルなどへ生まれ変わります。



ビンやカンなども自治体のルールに従って、資源回収に出しましょう。

ゴミ箱じゃないよ。  
ゴミは入れないでね！



ボトルからボトルへ 50%を目指します